

とっとり産業フェスティバル2010 ポスター発表

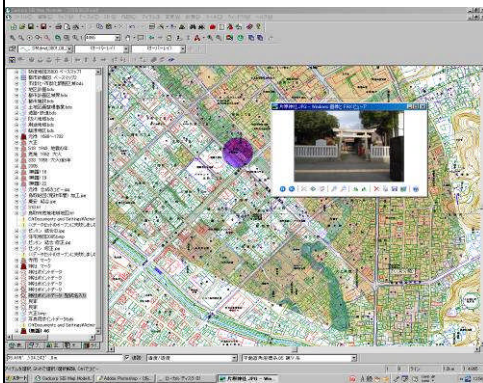
テーマ 「鎮守の森」の自然的・文化的景観としての意味と役割
 —鳥取市の景観まちづくりのための基礎的調査研究—

発表者

東樋口 護 鳥取環境大学環境情報学部環境マネジメント学科 教授

概要

本研究は、鳥取の地形（森・丘）並びに集落・町並みと一体になり、かつ数多く保存されている鎮守の森を取り上げ、その存在態様と自然的・文化的景観としての役割を明らかにするものである。なお、鎮守の森の存在様態を明らかにするとともに、GIS システムを用いて視覚的に表現した景観まちづくりのツールの構築を目指すものである。



1, GIS システムによる鎮守の森の表示システムの構築

- ・都市計画図をベースマップとする、鎮守の森の分布、写真画像の貼り付け、属性データのリンクを可能とする基本表示システムの構築。
- ・鎮守の森のある集落景観・都市景観の表現と表示システムとのリンク。
- ・植生図あるいは地質図、歴史的な背景情報としての歴史地図などを、レイヤーとして作成して、鎮守の森の分布背景を理解するデータの検討。



2, 鎮守の森の実態調査と調査データの作成

- ・(調査項目): 名称(神社名・無名のものを含む)、所在地、範囲と規模、植生(樹木種)、樹高、周囲の環境、参道、特徴、宮司の所在、由緒、本殿形式、鳥居の有無・形式と大きさ、近景・中景写真データ、その他

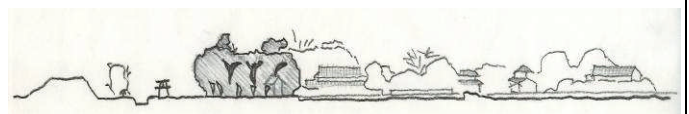
3, 調査途上で判明した事項

- ・社葬の樹種は広葉樹・針葉樹様々であり、照葉樹林のものも存在し、樹高・規模は多様である。
- ・山裾・田園・集落内など周辺環境も様々であり、そ



れによって景観要素としての役割も異なる。

- ・無住のものであっても比較的良好に保存されており鎮守の森が大切にされていることを伺わせるが、一方で道路建設・竹の猛威などによりその景観が壊されているものもある。



- ・一つの神社における氏子の数や、地域社会の中で鎮守の森がどのような意味を持っているのか、また、維持・管理、畏敬の念など、地域文化財としての役割解明が今後の課題である。

【ライセンス情報】 発明の名称:

発明者:

【産業界へのメッセージ】鎮守の森は古くから自然・文化的景観として、また地域のコミュニティーの核として存在してきました。しかし急速に都市化の波が進む現代において、鎮守の森を守る人たちも少なくなり、その存在の意味自体も薄れてきているように思います。この調査研究を通して鎮守の森の再認識と自然・文化景観としての重要性を伝えられたらと思います。

連絡先: 鳥取環境大学環境情報学部環境マネジメント学科 教授 東樋口 護

鳥取市若葉台北 1-1-1 TEL. 0857-38-6776 E-mail tohiguti@kankyo-u.ac.jp

分野

その他(居住空間工学)

プレゼンタイム

有

無